



つぎのいっぽん

地域力、福祉力、市民力 チカラをあつめる、つなぐ、高める、広げる～市民が主体の地域づくりを！



「ちばプロボノチャレンジ2019」プロボノワーカーの皆さん

市民参加のひとつの形 ——スキルや経験を活かしたプロボノ活動

9月の台風15号、10月の19号、10月末の豪雨災害は、千葉県内各地に大きな爪痕を残しました。

NPOクラブでは、市民参加型の支援プラットフォーム「スマートサプライ」にプロジェクト(中面に詳細)を立ち上げて、復旧活動を支援しました。現地での活動に必要なブルーシートや土嚢、梯子、ノコギリといった物資をサイト上で具体的に示すことで、直接、現地での復旧活動には参加できないけれど、物資の提供で支援できるのであればといった人たちの思いをつなげています。

復旧活動は、強風で損壊した屋根上の作業や倒木の処理といった、一般のボランティア活動では解決できないものも多くありました。屋根のブルーシートかけや倒木の処理に、それぞれの職能を活かしたボランティア「プロボノ活動」をする人たちが、県外からも駆けつけてくれました。彼らは、自分たちのスキル、ノウハウを活かし、自衛隊や地域の人たちを対象に講習会の講師も担い、支援

の輪が広がっています。

NPOクラブで、今年度行っているプロジェクト型のプロボノ事業(中面に詳細)は、「自分たちの活動をより良くしたい」と支援を希望した地域福祉団体と、プロボノ支援に手を挙げてくださった方たちをつなぐものです。プロジェクトとして支援内容と期間を限定し、忙しい企業人の方々も参加しやすい形とし、経営や広報などNPOが苦手な分野の支援で、スキルと経験を活かしてもらいます。また私たち事務局が、団体のヒアリング、支援内容の整理や支援者とのマッチングなどのサポートをすることで、より大きな成果にしたいと考えています。

市民に団体のミッションを伝え、参加を促し続けることは、NPOの役割の一つと言えます。市民の参加意欲を活かせるよう、NPOクラブはこれからも、多様な市民参加のニーズを掘り起こし、より多くの人々が市民活動に活発に関われるような機会を提供していきます。

◆東日本大震災被災者支援・復興応援イベント

「縁joy・東北」2019

千葉県に避難している人たちと一緒に東北の元気を作ろう！ どなたでもお気軽にお立ち寄りください。



日時：11月30日(土) 11:00～15:30 入場無料
会場：千葉市きぼーる 1F アトリウム (京成千葉中央駅徒歩5分)
内容：いけばなパフォーマンス、福島県・千葉県の伝統芸能、翔凛高等学校(君津市)フラ・タヒチアンダンスなどのステージプログラム、被災者撮影の写真と声の展示、手作り品など物品販売、親子向け各種体験など
※ほかにも、被災者・支援者対象専門家相談コーナー(こころ・生活・健康・不動産)も。
主催：「縁joy・東北」2019実行委員会
事務局・お問合せ：NPOクラブ(企画・運営)下記連絡先

◆千葉県市民活動団体マネジメント事業

ばっちり習得「NPOの労務」講座

団体の働き方に適した労務管理のための各種保険や労働基準法の基本知識などを学びます。



日時：12月4日(水) 13:30～16:30
会場：船橋市勤労市民センター 第1会議室 (JR船橋駅徒歩5分)
講師：石井敏則さん(社会保険労務士)
対象：NPOのスタッフ・役員
定員：30名(申込先着順)
受講料：無料

セミナー「さよなら共助社会～社会課題解決ではない、NPOの本来の役割を確認しよう」



日時：2月8日(土) 13:30～16:30
会場：パレット柏 ミーティングルームB・C (JR常磐線柏駅徒歩3分)
講師：松原明さん(NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会副代表理事)
対象：NPOのスタッフ、役員、NPOに関心のある方
定員：60名(申込先着順)
受講料：無料

総会準備講座「NPOの決算、年度末処理」

日時：2月上旬(平日午後開催予定)
会場：船橋市での開催予定
講師：豊岡正弘さん(豊岡税務会計事務所代表)
対象：NPO法人のスタッフ、役員
定員：30名(申込先着順)
受講料：無料

▶3講座共通
・主催：千葉県(千葉県市民活動団体マネジメント事業)
・申込み・問い合わせ：NPOクラブ(企画・運営)下記連絡先

《編集・発行》 特定非営利活動法人(認定NPO法人) ちば市民活動・市民事業サポートクラブ(NPOクラブ)

〒261-0011 千葉県千葉市美浜区真砂5-21-12 TEL 043-303-1688 FAX 043-303-1689

Mail: npo-club@par.odn.ne.jp URL: http://npoclub.com

ブログ: http://blog.canpan.info/npo-club1

Facebook NPOクラブで検索 Twitter NPOクラブで検索

・運営会員23名 賛同会員96名 発行1,000部 会員・県内外市民活動支援センター・自治体等に送付しています。

会員・寄付
募集中!



「ちばプロボノチャレンジ2019」とは？

(千葉県委託事業「我がまちシニア応援プロジェクト事業」)

《事業主旨》

- 今後急速に進展する高齢化に備え、高齢者を支援する地域福祉団体の基盤強化を支援します。
- 地域活動の担い手としてシニアや社会人が参加しやすい形を提供し、いきいきと活躍できる地域づくりを目指します。
- 地域での互助の仕組みづくりにむけて、様々な主体同志の関係性構築のきっかけづくりをします。

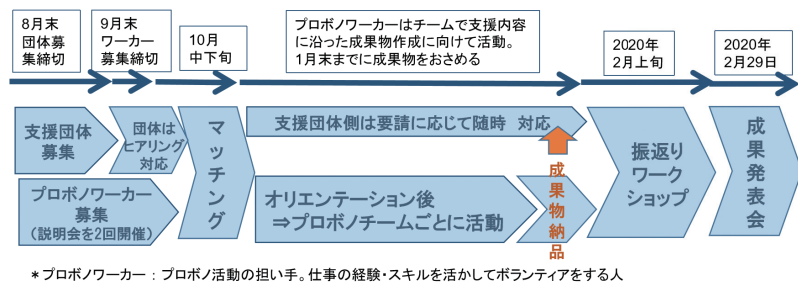


プロボノとは？

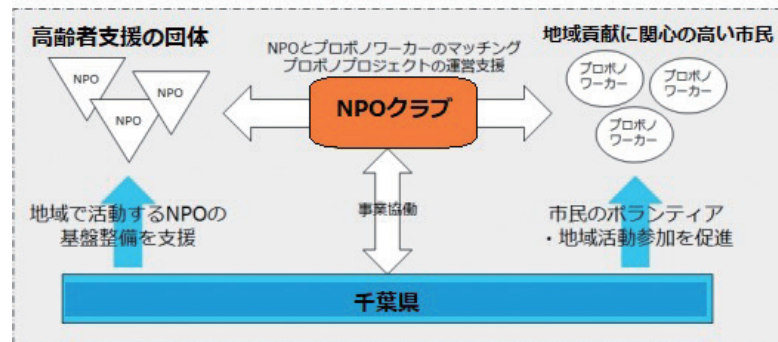
仕事で得た知識や経験、専門性を活かしたボランティア活動

3か月の期間で具体的な成果物を目標とした「プロジェクト型支援」

高齢者を支える地域福祉団体の困りごとと解決のために、仕事で培った経験を活かして地域に貢献したい人をチームとして組み、事務局が、支援団体とマッチング。支援内容と期間を限定して、10月末より各プロボノチームの支援が始まっています。



* プロボノワーカー：プロボノ活動の担い手。仕事の経験・スキルを活かしてボランティアをする人



【今年度の支援団体と支援内容】

県内の5団体(4市)を16名のプロボノワーカーで支援

- ・一般社団法人 セカンドライフファクトリー(柏市)
- ・特定非営利活動法人 船橋ウォーキング・ソサイエティ(船橋市)
- ・特定非営利活動法人 千葉西地域包括多職種の会(千葉市)
- ・御成台三丁目自治会 支え合いの会 虹(千葉市)
- ・特定非営利活動法人 サポートセンター花千(香取市)

組織運営上の課題整理
Web上の情報発信支援
課題整理と事業運営の提案
活動紹介リーフレット作成支援
会員募集チラシの作成支援

◆2020年2月29日(土) 13:30 ~ 千葉市民会館にて 本事業の「成果発表会」を開催します!

コミュニティソーシャルワーカーとして、地域住民の力を集めながら数々の先進的な取り組みに挑戦している勝部麗子さん(大阪府豊中市社会福祉協議会 福祉推進室長)の講演会もあわせて開催。

第37回 全国ボランティア推進団体会議 in 千葉

— SDGsが取り残すもの — 開催報告

1983年から、民間ボランティア活動を推進する全国の11団体が「世話人」となり開催。今年は、NPOクラブが世話人を務めました。7/6(土)、7(日)に生活クラブ生協千葉本部を会場に、全体会と4分科会の構成で開催。全国各地から多くの人たちが集まり研鑽しあいました。



〈全体会〉

— 今ある地域課題をSDGsで解決できるのか？

2015年に国連で採択されたSDGs(持続可能な開発目標)は、「世界の貧困をなくす」こと、「持続可能な世界を実現する」ことを目指すものです。企業や国はどこまで本気なのでしょう？ 稲葉 雅紀さん(一般社団法人SDGs市民社会ネットワーク業務執行理事)を講師に、SDGsの取り組みから漏れることや光と影について考えました。



〈分科会〉

ユニバーサル就労について

・ ひきこもり支援からユニバーサル就労のこれからを考える

長期ひきこもり状態にある人たちの中には「働きたい」と思っている人が少なからずいます。段階的なプログラムに沿った就労準備支援により一般的な就労に行きつくこともできます。鈴木 由美さん(NPO法人ユニバーサル就労ネットワークちば)、北村 智哉さん(千葉市自立・仕事相談センター中央)、羽良 良秀さん(生活クラブ生活協同組合千葉)のお話をもとに意見交換しました。

〈参加者の声〉

- ・就労だけがゴールなのか。社会で地域で考えていかなければいけないのではないかな。
- ・受け入れ事業所で業務を分解することで働きやすくなる。

必要な人に、必要な支援を、必要なだけ

市民参加型の支援プラットフォーム「スマートサプライ」で支援

— 台風15号、19号の被災者・被災地支援活動

9/8に関東を直撃した台風15号。強風による屋根の損壊、倒木等、県内各地で大きな被害が出ました。南房総市や鋸南町といった南部地域に、梯子やブルーシート、土嚢袋、リヤカー等の物資を千葉県災害ボランティアセンターの協力のもと、サイトを通じて提供しました。提供した物資の数は3,178件。屋根のブルーシートかけ、倒木や

ガレキの処理といった作業を支えることができました。

台風15号、19号、10月豪雨と災害が続きました。「できることがあれば」という思いを被災地につなぐ拠点として、9月末には他の3団体とともに「千葉南部災害支援センター」を立ち上げました。今後も、中間支援組織として、復旧、復興活動を支援していきます。

Smart Supply 「ちば連続災害支援」プロジェクト <https://smart-supply.org/#/npoclub201909>

